

2023年度

科目名称	動物園水族館基礎論
授業コード	AC107
英語名称	Zoo and aquarium fundamentals
学期	2023年度前期
単位	2.0
担当教員	佐渡友 陽一 (生命環境学部), 並木 美砂子 (生命環境学部), 加賀谷 玲夢 (生命環境学部), 野田 英樹 (生命環境学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	動物園や水族館は、本学科カリキュラムポリシーである「人と動物との共生について科学的視点で考える」にあたり、多くの現代的問題を提供している。これらの課題を、実際に動物園の運営や飼育現場での経験を積んだ教員が提起し、その解決の方向性について考える。
科目に関連する実務経験と授業への活用	動物園の展示・飼育事例・野生動物保全・教育・運営等の部分では、公立動物園の飼育展示や運営に関わった経験を有する教員が講義する（並木美砂子・野田英樹・佐渡友陽一）。
到達目標	動物園・水族館の現状と背景（歴史）を理解した上で、その社会的役割と可能性について、自分の言葉で説明できるようになること。 カリキュラムポリシー： 2．専門科目を学ぶための基礎となり、かつ動機づけとなる専門基礎科目を配置する。 ディプロマポリシー： 3．「人と動物の『共生』」についての諸問題に関心をもち、合理的な視点から分析・理解して問題解決に寄与できる能力を身につけている。
計画・内容	1) ガイダンス 授業の進め方、教員紹介、評価方法についての説明（並木ほか） 予習：授業項目を確認すること。シラバスの内容を確認し、質問があれば用意しておくこと。 復習：授業内容を確認し、ノートを整理事ること。 2) 日本の動物園と展示（野田） 予習：授業項目を確認すること。事前に配布された資料をよく読み、関連する情報をまとめておくこと。 復習：授業内容を確認し、ノートを整理事ること。 3) 日本の水族館と展示（1）（加賀谷） 予習：授業項目を確認すること。事前に配布された資料をよく読み、関連する情報をまとめておくこと。 復習：授業内容を確認し、ノートを整理事ること。 4) 日本の水族館と展示（2）（加賀谷） 予習：授業項目を確認すること。事前に配布された資料をよく読み、関連する情報をまとめておくこと。 復習：授業内容を確認し、ノートを整理事ること。 5) 動物園・水族館と動物園学・水族館学の課題（佐渡友） 予習：教科書第1章を読み、課題に備えること。 復習：授業資料やノートを確認し、最終レポートの準備をすること。 6) 動物園と野生動物保全（野田） 予習：授業項目を確認すること。事前に配布された資料をよく読み、関連する情報をまとめておくこと。 復習：授業内容を確認し、ノートを整理事ること。 7) 水族館と野生動物保全（加賀谷） 予習：授業項目を確認すること。事前に配布された資料をよく読み、関連する情報をまとめておくこと。 復習：授業内容を確認し、ノートを整理事ること。 8) 現代日本の動物園・水族館とその課題（佐渡友）

2023年度

<p>計画・内容</p>	<p>予習：教科書第2章を読み、課題に備えること。 復習：授業資料やノートを確認し、最終レポートの準備をすること。</p> <p>9) 動物園における教育(並木) 予習：授業項目を確認すること。事前に配布された資料をよく読み、関連する情報をまとめておくこと。 復習：授業内容を確認し、ノートを整理すること。</p> <p>10) 水族館における教育(加賀谷) 予習：授業項目を確認すること。事前に配布された資料をよく読み、関連する情報をまとめておくこと。 復習：授業内容を確認し、ノートを整理すること。</p> <p>11) 欧米の動物園・水族館と動物園水族館の経営(佐渡友) 予習：教科書第3章を読み、課題に備えること。 復習：授業資料やノートを確認し、最終レポートの準備をすること。</p> <p>12) 飼育動物のトレーニングとアニマルウェルフェア・動物園編(並木) 予習：授業項目を確認すること。事前に配布された資料をよく読み、関連する情報をまとめておくこと。 復習：授業内容を確認し、ノートを整理すること。</p> <p>13) 飼育動物のトレーニングとアニマルウェルフェア・水族館編(加賀谷) 予習：授業項目を確認すること。事前に配布された資料をよく読み、関連する情報をまとめておくこと。 復習：授業内容を確認し、ノートを整理すること。</p> <p>14) 動物園の歴史&日本と欧米の違い(佐渡友) 予習：教科書第4章および5.1節、5.2節を読み、課題に備えること。 復習：授業資料やノートを確認し、最終レポートの準備をすること。</p> <p>15) 動物園・水族館の役割とあり方(佐渡友) 予習：教科書第5章のうち5.3節以降を読み、課題に備えること。 復習：授業資料やノートを確認し、最終レポートの準備をすること。</p>
<p>授業の進め方</p>	<p>・各回ともに予習内容の確認などのための課題を課し、これにより出欠を採る。課題の出し方は各担当教員が講義中に説明を行なう。</p>
<p>能動的な学びの実施</p>	<p>・該当しない。</p>
<p>授業時間外の学修</p>	<p>・予習については、教科書や掲示板に登録された資料を読み、疑問点などを抽出しておくこと。復習は資料および自分なりに情報収集により確認しておくこと。(合計60時間程度)</p>
<p>教科書・参考書</p>	<p>予習を通じて、以下の教科書を通読する。 ・動物園を考える(2022)東京大学出版会、2,920円</p> <p>参考書として ・動物園学入門(2014)朝倉書店 ・新版水族館学(2010)東海大学出版会 ・日本の水族館(2014)東京大学出版会 ・どうぶつたちの給食時間(2017)旅するミシン店</p>
<p>成績評価方法と基準</p>	<p>各回の課題(75%)および、最終レポート(25%)により評価する。</p>
<p>課題等に対するフィードバック</p>	<p>・各回の課題および質問に対して、教員毎に次の担当回でフィードバックを行う。</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>CampusSquareを参照</p>
<p>留意事項</p>	
<p>非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」</p>	<p>授業の進め方 ・講義形式の動画を配信する。オンデマンド型を基本とする。</p> <p>成績評価方法と基準</p>

2023年度

非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	・対面授業と同一の課題提出を提示された期限内に行うことにより「出席」とみなす。
------------------------------------	---